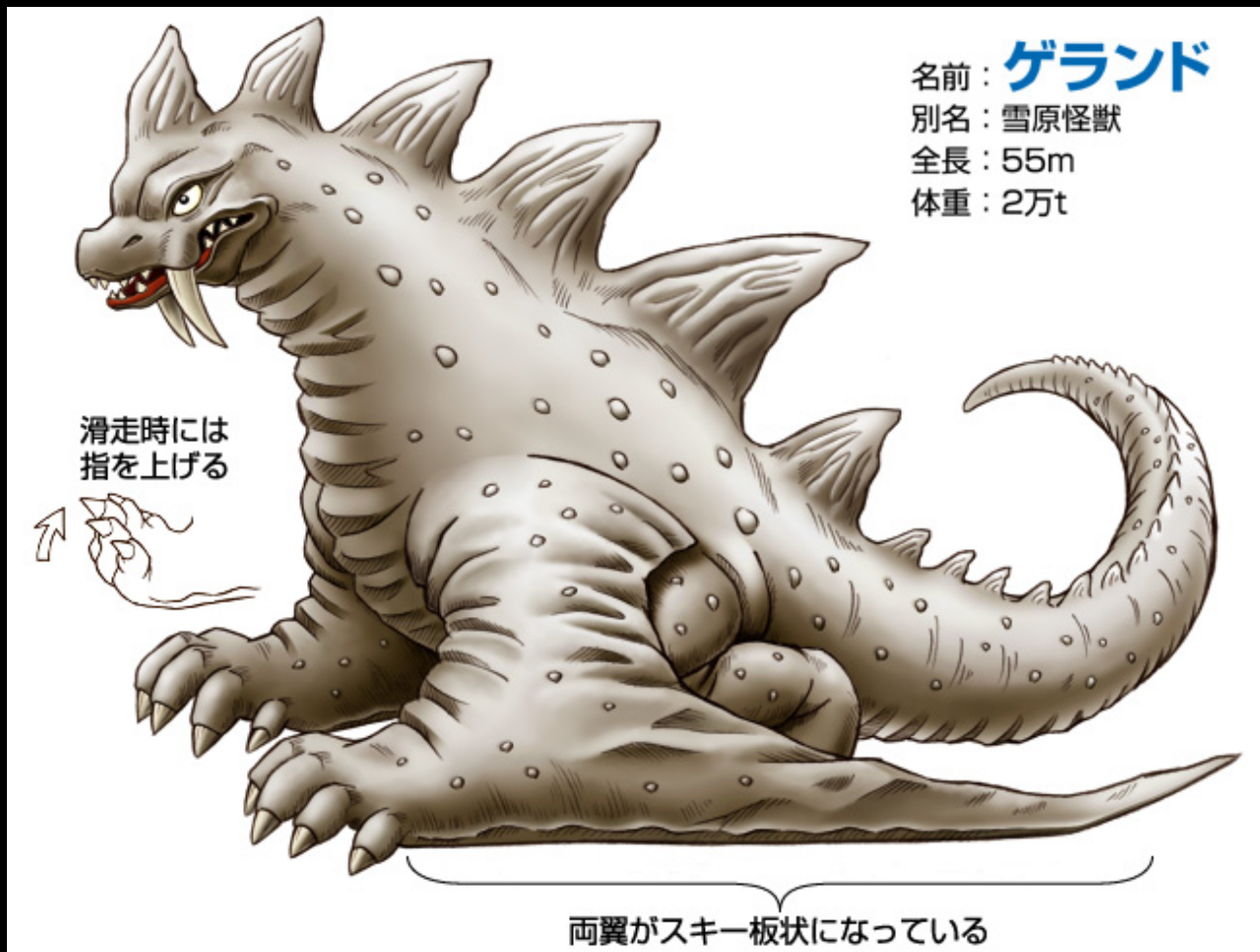


雪原怪獣ゲランド

中生代の翼竜から進化した怪獣。日本アルプス山中に潜んでいたが、リゾート開発によって生息地を荒らされ、人類への逆襲を開始した。雪上生活に高度に適応し、かつて大空を飛翔した翼はスキー板のように変化し、雪上を時速250kmの猛スピードで滑走する。滑走時には翼が雪に潜らないように、すべての指を上上げる(下図)。零下130度の吐息は猛吹雪となってあらゆる物を凍らせる。勢いをつければジャンプも可能で、翼を広げ山から山へと滑空することもできる。唯一の弱点は、雪上でなければ素早く動けないことだ。

冬といえば雪山、今回は「雪の中のザンボラー」的な怪獣です。雪を蹴散らし、スキーヤーやスノーモビルに高速で迫ってくる迫力あるシーンが似合う怪獣を！との思いから考え出しました。一応、四足歩行ですが、従来の四足怪獣とは変化をつけるために、両腕の翼で後ろ足を隠す工夫をしています。(最初は前足と後ろ足が一体化して長いスキー板のようになった怪獣を考えていましたが、妻に「なんかね」と言われ、現在の形になりました) 全身の斑点はヒョウアザラシを、背びれの模様は雪を頂いたアルプス連峰をイメージしています。ネーミングは「ゲレンデ」のもじりであるのは言うまでもありません。



合計: 3089

今日: 1

昨日: 3

Since 2009-12-18